

教育委員会の点検・評価
(令和6年度分)
報告書

令和7年5月
境港市教育委員会

1. 教育委員会の点検・評価の概要について	
教育委員会の点検・評価の概要	2
2. 教育委員会の点検・評価の結果について	
目標1：学校と家庭、地域との連携	
・学力向上事業・よりよい学級づくり事業	6
・児童クラブ運営事業	7
・地域学校協働推進事業	8
目標2：教育力の向上	
・フリースクール等利用料助成事業	10
・小中学校プール授業委託事業	11
・学校教職員指導力向上推進事業	12
・国際理解教育推進事業	13
目標3：社会教育の充実	
・地域クラブ活動推進事業	14
・読書活動推進大会開催事業	15
・二十歳の集い記念事業	16
目標4：体育・文化の振興	
・市民交流センター管理運営事業	17
・第36回全国健康福祉祭とっとり大会「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」 （ソフトバレーボール大会）	19
3. 教育委員会の活動状況について	
教育委員会の活動状況（令和6年度）	21

教育委員会の点検・評価の概要

1. 制度について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）」の改正（平成19年6月）により、教育委員会の責任体制を明確にするため、同法第26条の規定に基づき、20年度から教育委員会が、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられた。

2. 目的について

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育・社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会である。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員による合議により、指揮監督（レイマン・コントロール）し、中立的な意思決定を行うこととされている。

そして、その目的については、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育長以下の事務局を含む、広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することによって、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすこととされている。

3. 対象事業の考え方

点検・評価の対象事業は、当該年度における教育委員会の権限に属する事務の中から、主要な事業を抽出し、担当課（教育総務課、生涯学習課）ごとに、その目的、概要、状況、成果・効果・課題・問題点等について点検・評価シートを作成し、事務の管理及び執行の状況についての自己評価を実施した。

4. 学識経験者の知見の活用

点検・評価の実施にあたっては、地教行法第26条第2項の規定による知見の活用を図るため、学校教育分野、社会教育分野での教育や人材育成に携わった（あるいは携わっている）学識経験者から、教育委員会事務局が作成した点検・評価シートごとの結果（自己評価）について、外部評価（指摘・助言）を受けるという形で実施した。

氏名	略歴等	外部評価実施日
遠藤 博	元境小学校教頭	令和7年5月2日
早川 輝彦	元渡公民館長	令和7年5月2日

5. 点検・評価の流れ

(1) 事務局による点検・評価

事務局が事業の目的、概要、実施状況及び成果・効果・課題・問題点等を検証し、点検・評価シート（事務局評価素案）を作成する。

(2) 学識経験者による指摘・助言

事務局が作成した点検・評価シートについて、各分野の学識経験者（※）により、点検・評価に対する指摘・助言を受ける。

※ 各分野の学識経験者：学校教育、社会教育における学識経験者

(3) 教育委員による点検・評価

学識経験者による指摘・助言を受け、修正したものを教育委員会で協議し、教育委員からの点検・評価を受ける。

(4) 議会への提出

教育委員会において協議した報告書を、議会（委員会）に提出する。

(6) 住民に対する説明責任

議会に提出後、ホームページに掲載し公表する。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検・評価シートの記載要領

- 1 「事業名」欄
対象となる事業名を記載する。
- 2 「担当課」欄
担当課名を記載する。
- 3 「事業の目的」欄
事務事業を実施する上で特に目標としていることを記載する。
- 4 「事業概要」欄
事業の大まかな内容を記載する。
- 5 「実施状況」欄
これまでの取り組み状況や目標達成に向かってどのような取り組みを行ったかを記載する。
- 6 「予算額」欄
当該年度の予算額を記載する。
- 7 「成果・効果」欄
取組んだ中で明らかになった事業の成果・効果を記載する。
- 8 「評価」欄
「実施状況」、「成果・効果」、「課題・問題点」から総合的に勘案して、次の区分により担当課で評価を行い、「評価」欄に記載する。

評価区分		内 容
◎	順 調	成果・効果が顕著に現れ、目標を十分達成できている。
○	概ね順調	若干の課題はあるものの、目標を概ね達成できている。
△	やや順調でない	課題が少なからずあり、目標の達成がやや順調でない。
×	順調でない	目標を達成するための課題が多く、改善に向けた取り組みにも着手できていない。

- 9 「課題・問題点」欄
事業を実施した上で、浮き彫りになった課題や問題点を記載する。
- 10 「検討事項」欄
今後に向け、整理すべき課題を記載する。
- 11 「学識経験者による指摘・助言」欄
事業について、学識経験者の指摘・助言を受けた場合、記載する。

点検・評価シート

【目標： 】

事業名		担当課	
事業の目的	.		
事業概要	.		
実施状況	.		
予算額			
成果・効果	.		
評価			
課題・問題点	.		
検討事項	.		

※学識経験者による指摘・助言

点検・評価シート

【目標1：学校と家庭、地域との連携】

事業名	学力向上事業・よりよい学級づくり事業	担当課	教育総務課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学力の定着度を把握することで、学習指導・授業改善に役立て学力向上を図る。 ・児童生徒の学級に対する満足度を把握し、実態に合わせた指導や支援を行い、いじめや不登校の早期発見・組織的対応へつなげる。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校2・3・4・5年生及び中学校1・2年生を対象に標準学力調査CRTを実施し、観点別学習状況の客観的な把握と、児童生徒のつまずきに対してきめ細かな指導を行う。 ・市内児童生徒（小学校1年生を除く）を対象に年2回QU検査を実施し、学級における満足度を客観的に把握し、いじめや不登校に対する未然防止と早期発見につなげる。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・標準学力調査CRTを小学校の2・3年生を対象に国語・算数の2教科、4・5年生を対象に理科・社会の2教科、中学校の1年生を対象に国語・数学・理科・社会の4教科、2年生を対象に国語・数学・理科・社会、英語の5教科を実施 ・市内小中学生（小学校1年生を除く）を対象にQU検査を年2回実施 		
予算額	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上事業 小学校870千円、中学校439千円 ・よりよい学級づくり事業 小学校956千円 中学校575千円 		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・CRTの結果をもとに、児童生徒一人一人や学年・学校の課題を客観的に把握し、つまずきに応じた指導を行った。 ・QU検査を実施して分析・活用することで、同じ指標をもとに児童生徒の学級内での満足度を客観的に把握し、個に応じた支援、いじめや不登校の未然防止、早期発見につなげることができた。 ・市内の学力の現状や学級の実態把握をした上で、CRTの結果及びQU検査結果を見学・生徒理解と関連づけるようにして、個別の対応を行うことができた。 ・継続的にQU検査の分析料を予算化したことで、学校への負担を軽減することができた。また、教職員の働き方改革にもつながっている。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・CRT、全国学力・学習状況調査、とっとり学力・学習状況調査、学校で実施される定期テスト等を総合的に分析し、授業改善に役立てる必要がある。 ・質問紙等で児童生徒の非認知能力についての分析と学級の状況を客観的に見た上での指導が必要である。 ・QU検査の結果や質問紙調査から見えた強みや弱みを共有し、教職員間で児童生徒理解に役立てる必要がある。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・CRTについては、学校の活用状況や他のテストとのバランスを考慮し、来年度は廃止を検討。 ・QU検査は現在紙媒体で実施しているが、今後は電子化を予定。 		

※学識経験者による指摘・助言

- ・全国学力学習状況調査やとっとり学力学習状況調査、英検など、様々なテストが学校に導入されつつある今、バランスを考慮してCRT（標準学力検査）を廃止したり、QU検査の電子化を検討することについては、教員の負担軽減にも効果があると感じる。

点検・評価シート

【目標1：学校と家庭、地域との連携】

事業名	児童クラブ運営事業	担当課	教育総務課																																																																
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童を預かり、保護者の就労支援及び児童の健全育成、自立支援を図る。 																																																																		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6校区に児童クラブを開設。開設時間は、平日は授業終了後から17時30分まで、土曜日・長期休業日は8時30分から17時30分までとし、保護者の希望により、18時30分まで延長保育を実施している。 ・保護者負担金は月額3,500円(8月は7,000円)とし、減免制度、2人目以降の減額制度も設けている。 ・主任を各クラブ1名配置し、主任を中心にクラブ運営を実施している。 ・令和6年度より指導員を各クラブ1名増員し、7名体制(主任含む)とした。 																																																																		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 クラブ利用者数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年生</th> <th>2年生</th> <th>3年生</th> <th>4年生</th> <th>5年生</th> <th>6年生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡</td> <td>27</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>外江</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>境</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>上道</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>余子</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>中浜</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>141</td> <td>110</td> <td>93</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>378</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 減免人数 72人 				1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	渡	27	12	17	0	0	0	56	外江	24	15	13	8	2	0	62	境	20	15	12	2	1	0	50	上道	26	24	23	0	0	0	73	余子	27	23	15	4	6	1	76	中浜	17	21	13	7	2	1	61	合計	141	110	93	21	11	2	378
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計																																																												
渡	27	12	17	0	0	0	56																																																												
外江	24	15	13	8	2	0	62																																																												
境	20	15	12	2	1	0	50																																																												
上道	26	24	23	0	0	0	73																																																												
余子	27	23	15	4	6	1	76																																																												
中浜	17	21	13	7	2	1	61																																																												
合計	141	110	93	21	11	2	378																																																												
予算額	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ運営費 60,605千円 																																																																		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯やひとり親世帯における児童の安全・安心な居場所を提供し、保護者の就労支援に繋がっている。 ・児童の基本的な生活習慣の取得の手助けができた。 																																																																		
評価	○	概ね順調																																																																	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・入会希望者数が基準人数を上回る場合、4年生以上の児童を入会待機しなければならない。また、長期休業中は、一時入会希望者を他校区のクラブで受け入れることになる。 ・特別な支援を必要とする児童が増えているため、「子どもの特性の理解と支援」について、今後も引き続き研修を実施する必要がある。 ・勤務時間が不規則なため、指導員の応募が少なく、人材確保に努めている。 																																																																		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな指導員(人材)の確保及び放課後児童支援員認定資格取得者の増員が必要である。民間委託も検討していく。 ・単独施設(渡児童クラブ、中浜児童クラブ)の老朽化が進んでいるため、今後の施設の在り方について検討が必要である。 																																																																		

※学識経験者による指摘・助言

- ・入会に際しては、価値観や家庭等の状況に応じて、保護者が民間の児童クラブと比較検討ができるような情報提供が十分される必要がある。

点検・評価シート

【目標1：学校と家庭、地域との連携】

事業名	地域学校協働推進事業	担当課	教育総務課
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区単位でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の取組を通して、学校と地域との連携・協働を図り、「地域とともにある学校づくり」「学校を核にした地域づくり」を推進することで、よりよい地域づくりと未来を担う子どもの育成を図る。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を活用し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。また、地域学校協働本部を核として、地域・家庭・学校が連携・協働し、各学校の「めざす子どもの姿」の実現に向けた地域学校協働活動を展開する。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会で「校区の小中連携教育ビジョン」承認にあたり、「めざす子どもの姿」を共有し、多様な立場の人のアイデアや声を反映させる熟議を開催した。 ・地域学校協働フォーラムに合わせ、小・中学校の地域学校協働活動の様子を掲示し、中学生の職場体験や、公民館と地域で実施している子どもの居場所づくりなどについて、市全体で発表する機会を設けた。市民と熟議を体験する場も設けた。 ・所沢市立松井小学校長市川重彦氏を招き、学校管理職対象の研修会を開催。 ・総合的な学習を使って、地域の企業による職業講話やワークショップ等を行い、中学生が様々な企業の方と対話を繰り返し、キャリア意識を高めている。 		
予算額	1,267千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区の学校運営協議会で協議の意義についての理解が深まり、校区ビジョンや、めざす子どもの姿の実現のために必要なことを考える機会が増えている。委員が自分事としてかかわっていかこうとする機運が高まりつつある。また、子どもの自主的活動を支援する地域の活動との連携も始まった。 ・地域学校協働推進フォーラムでは、職場体験学習の発表、公立鳥取環境大学 川口有美子准教授の講話等での価値づけにより、参加者が地域学校協働活動についての理解を深めた。また、中学生が加わった熟議体験では、校区や年代・立場を超えて同じテーマについてのアイデアを出しあうことにより、楽しく有意義な時間を過ごすことができ今後も参加していきたいという声が多数あった。 ・中学校の総合的な学習での地域と企業や事業所とのかかわりが系統化されてきつつあり、受動的な学びから主体的な学びへ変化してきている。 ・学校管理職に特化した研修会を現場の校長を講師に実施したことで、校長のリーダーシップの重要性及び主体的・効果的に学校運営協議会と地域学校協働を活用することを学ぶことができた。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールや地域と学校との連携・協働のねらいについて、情報提供や理解・啓発のあり方について検討を図ってきているが、教職員や保護者への周知は充分とは言えず、効果を実感しにくい。 ・地域学校協働活動について、公民館や各種団体と学校をつなぐ役割を誰がどのように担っていくのかが明確でない。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールにかかわったことのない市民や保護者に向けて、啓発のための研修実施や情報発信を検討する。 ・学校管理職・学校運営協議会委員・コーディネーター向けの研修を実施する。 ・学校運営協議会・地域学校協働活動の具体的な活動状況を丁寧に発信し、緩やかなネットワークづくりのあり方を検討したい。 ・地域と関わりのある学習内容を一覧にし、学校と地域双方で年間の流れを知ることに加え、各教科や領域で作成する年間指導計画に明記する方向で具体的な指導を行っていく。それに加え、若年層の教員向けの研修等を企画し、社会に開かれた教育課程がなぜ必要なのか理解を図るとともに、継続した指導を展開したい。 		

※学識経験者による指摘・助言

- ・小中学校の年間指導計画を元に、地域とのつながりが深まるように、コミュニティ・スクールとPTA、公民館等のかかわり方の検討を進めてほしい。

点検・評価シート

【目標2:教育力の向上】

事業名	フリースクール等利用料助成事業	担当課	教育総務課
事業の目的	フリースクール(「不登校児童生徒を指導する民間施設のガイドライン」に準拠し、鳥取県教育委員会より「出席の扱いが考えられる学校外の施設」として通知されている学校以外の施設)等に通う市内の児童生徒の保護者等の負担軽減を図る。		
事業概要	<p>鳥取県教育委員会の「不登校児童生徒を指導する民間施設のガイドライン」に準拠した施設または教育支援センターに市内に在住の児童生徒が通う場合に通所費、交通費・実習費を助成する。</p> <p>申請期間:①4月～7月②8月～11月③12月～翌年3月 3期ごとの申請</p> <p>補助対象:通所費、通所に係る交通費、実習費</p> <p>補助金上限:通所費(毎月支払う定額分)】児童生徒一人当たり 月額 13,200円 交通費・実習費 小学生一人当たり 月額 3,000円 中学生一人当たり 月額 6,000円</p>		
実施状況	<p>事業開始 令和6年8月1日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取フリースクールこ・ラボ境港校に通所する市内児童生徒に補助金を交付 2期 8月～11月 小学校5名中学校3名 346,200円 3期12月～ 3月 小学校5名中学校5名 650,400円 ・学習支援センターやすらぎルームに通所する児童生徒の保護者からの申請(交通費)なし 		
予算額	1,756千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・金額の面から週1回、または週2回しか通うことができなかった児童生徒が、週3回に変更して通所することができるようになった。 ・県の認可を受けているフリースクールは出席扱いとできることから、こどもたちの居場所としての選択肢が増え、保護者の安心感にもつながっている。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	・やすらぎルームに通う児童生徒についても本助成を受けることが可能なため、保護者へ周知が必要。		
検討事項	・県補助金額の改正に合わせた、補助金の上限額の変更。		

※学識経験者による指摘・助言

- ・鳥取フリースクールこ・ラボ境港校の存在や活動について、広く周知する必要を感じる。

点検・評価シート

【目標2:教育力の向上】

事業名	小中学校プール授業委託事業	担当課	教育総務課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳の指導資格保有者による指導を行うことで、児童生徒が水泳の専門的な指導を受け、泳力を高める。 ・屋内プールを活用することで、熱中症対策、健康面での配慮を行うことができる。 ・プール授業の監視員を委託することで、教員の働き方改革につながる。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・今後小中学校の学校プールの老朽化に伴い維持費はあがることを見込まれる。 学校のプール授業において、プールの管理、監視員配置の教員の人手不足、気候変動(熱中症・日焼け・降雨の場合)の対応などの負担を解消するため、市民プールによる水泳授業に段階的に移行する。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・外江小学校、第二中学校で実施。 ・天候や環境に左右されずに、実施することができた。 ・バスによる輸送も安全に行うことができた。 ・スイミングコーチと学校、市教委とが連携し、運営することができ、児童生徒は専門的な指導を受けることができた。 		
予算額	小学校費1,220千円 中学校費656千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的なスキルのあるスイミングスクール指導者による指導を受けることで、児童生徒一人一人の泳力の向上につながった。 ・教職員の学校プールに係る維持管理業務を軽減することができた。 		
評価	○	概ね良好	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳指導が苦手な教員が増えるのではないか。 ・今後市民プールでの授業をすべての学校が実施する場合の、搬送計画。 ・見学者の対応について。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて各学校の授業を組む場合の輸送における調整。 		

※学識経験者による指摘・助言

- ・市民プールの指導員と教職員がチームティーチングで授業を行うことで、教職員の水泳指導への理解と、授業力(指導力)の向上に役立っている。
- ・すべての学校で見学者、体調不良者への対応について、教員業務支援員等の活用を進めてほしい。

点検・評価シート

【目標2:教育力の向上】

事業名	学校教職員指導力向上推進事業	担当課	教育総務課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての使命感と専門職としての自覚を深め、指導力と組織力向上を高める。 ・市の教育目標達成に向け、一貫性のある教育体制づくりに努める。 ・市内児童生徒の「ことばの力」を育むための教師の指導力の向上を図る。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での指導経験豊富な講師2名(英語、国語)を招聘し、それぞれの教科での授業実践から「ことばの力」を育むために必要な教師の姿勢や授業の具体的な取り組みについて学ぶ場を設定する。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの力を育む研修会 (市内管理職、英語・国語科主任、希望者対象の集合研修) 8月2日(金) 15:30~16:45 市民交流センターみなとテラス 中会議室 講師 北原 延晃氏、甲斐 利恵子氏 講演内容 <ul style="list-style-type: none"> ・授業実践の紹介 ・教師のかかわり方(評価・声かけ) ・実践によって、どのような力が付き、成長が見られたのか ・トークセッション「言語教育について」 ・北原氏、甲斐氏、山本教育長 		
予算額	477千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの教科の授業実践の紹介を通して、今後の授業でどのような活動を仕組めばよいか、具体的なイメージを持てるようになった者が増えた。 ・「ことばの力」がどのような力なのか、主体的に考えるようになってきている。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容が2年連続で講義形式だったことや、内容に共通する部分が多くあったことから、参加者の中には、物足りなさを感じている者がいた。 ・開催時期が研修や会議が多く入っている週で、参加したくても都合のつかない者もいた。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の「ことばの力」を伸ばすだけでなく、教師の話す力、聞く力を伸ばすため、アナウンサーを講師として招き研修を企画・実施する。 ・今年度行った英語教育、国語教育の講師を招いた研修を教職員対象の集合研修ではなく、実際に中学校の授業に参加、または、授業実践をしていただく形に研修の内容を変更する。 		

※学識経験者による指摘・助言

- ・実践力を伸ばすには、模範となる指導者の授業参観を行い、イメージを持つことが必要である。
- ・模範となる指導者との意見交換等する場を設けることで、教職員の指導力の向上に効果がある。

点検・評価シート

【目標2:教育力の向上】

事業名	国際理解教育推進事業	担当課	教育総務課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・国際都市として発展しているシンガポール共和国を訪れ、他者との関わりを通して文化の多様性に接し、国際理解に対する見識を深めるとともに、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。 ・自ら考え行動する自主性、感じたこと、学んだことを表現する力、リーダーとしての責任を自覚し、他者により良い関係を築こうとする力を身に付けさせる。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航までに、4回の事前学習を実施する。 ・2泊4日でシンガポール共和国を訪問する。 ・英語力、コミュニケーション力を高めるため、現地で英語を使ったインタビュー活動を行う。 ・シンガポール共和国についての理解を深めるため、国立博物館で歴史を学んだり、建築物や観光地を訪れたりする。 ・シンガポール共和国で日本人がどのような活動や学びをしているのかを知るために、日系企業、日本人学校を訪問する。 ・現地大学生に現地を案内してもらいながら交流を深める。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学生7名（一中2名、二中2名、三中3名）を派遣。 ・事前学習会を4回実施し、現地での活動の予行として、夢みなとターミナルに来航する客船の利用者に英語でのインタビュー活動を実施。 ・多くの人が集まる観光地等で、英語でのインタビュー活動を実施。 ・日系企業訪問でTomoWorkを訪問。 ・シンガポール日本人学校チャンギ校を訪問し、学校設備や学習内容について教頭から説明を受け、その後学校周辺地域の案内をしていただいた。 		
予算額	3,711千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習1回目では、自分から話すことも少なく英語にも自信がないと言っていた生徒たちが、現地では積極的に自分から話しかけ、間違いを恐れることなく英語を話したり、即興で質問を返したりするなどの成長が見られた。 ・海外の人とコミュニケーションをとることや、英語で会話をするに対して自信が増し、境港市での観光ボランティアとして活動する生徒がいた。 ・各校の文化祭で、それぞれが現地で学んだこと、自分が変わったことなどをまとめ、英語でプレゼンテーションを行うことができた。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・円安の影響により、様々なものの経費が高騰したため、当初は12名を想定していたが5名減での派遣となった。 ・予算内に収めるため、関西からの発着となったが、深夜便の利用や市マイクロバスでの長時間の移動など、時間的に余裕のない日程となった。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度以降は体験活動や学習活動の充実を図るため、現地での十分な時間と生徒の健康、体力面を配慮し、渡航先の検討を行う。 		

※学識経験者による指摘・助言

・市内で働かれている多くのベトナムやインドネシアの方々、観光で訪れる多くの韓国や台湾の方々と交流できる機会も大切にしてほしい。

点検・評価シート

【目標3:社会教育の充実】

事業名	地域クラブ活動推進事業	担当課	教育総務課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・休日における部活動を地域の活動に移行することにより、生徒の活動場所の確保と教員の負担軽減に努める。 ・令和7年度文化庁の補助を活用し「文化部活動の地域移行等に向けた実証事業」に取り組む。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校のハンドボール部、陸上競技部、サッカー部、軟式野球部、卓球部の休日における活動を地域クラブへ移行し、生徒の練習場所や時間を確保しつつ教員の勤務時間の減少を目指す。 ・市内中学生を対象に「写真」活動を行うことで地域の大人と生徒との新しい交流の場を目指す。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボール部、陸上競技部、サッカー部、軟式野球部、卓球部の休日の活動を5年度に引き続き実施。 ・各地域クラブにおいては、現職教員を含め学校の教員以外の指導者が中心となって運営に携わり、教員の時間外労働の削減につながっている。 ・11月～2月の間、計5回の写真教室を実施。参加者は5名。(一中3名、三中2名) 		
予算額	220千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い指導者のもとで活動し、技術の向上につながった。 ・専門性のない教員等が部活動顧問になっても、生徒がクラブチームに参加することで、質の高い指導体制が維持でき、顧問の時間外勤務削減につながった。 ・写真教室に参加した生徒は、美術館の見学や撮影スポット巡り・作品作りを通して、学校の部活動にはない活動を体験でき、楽しさや新鮮さを感じていた。子ども達自ら企画させる機会を設定することで達成感を感じられていた。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な指導体制の構築(指導者の確保,人材バンク)。 ・受け入れ可能なクラブの確保。 ・受益者負担の発生。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度以降、既の実施している5つのクラブ以外の部活動を段階的に地域クラブへ移行したい(まずは剣道)。同時に、拠点校方式部活動についても推進。 		

※学識経験者による指摘・助言

- ・生徒の加入状況、受け入れをしている地域クラブへの支援状況、受益者負担の実態について、どうなっているかわからないことが多い。

点検・評価シート

【目標3:社会教育の充実】

事業名	読書活動推進大会開催事業	担当課	教育総務課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートに始まり、「朝読」、「ファミリー読書」というように、赤ちゃんから大人まで生涯を通じた読書活動の推進を図る。 ・「読書まつり」を開催し、読書の楽しさ・大切さを伝える。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ団体等による読み聞かせ、読書に関する展示、その年々のテーマに沿った講演会等を開催し、様々な形で読書活動を市民に周知し生涯読書の推進を図る。 		
実施状況	<p>12月14日(土)10時～ 境港市民交流センター(みなとテラス)を会場に、「赤ちゃんから大人まで本でたのしいひとときを」をテーマに、イベント形式で開催。今大会が第20回の記念大会となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館 学習展示 ・講演「絵本と鳥の巣のふしぎ」鈴木まもる氏 ・「絵本と音楽」～クリスマスのお楽しみ～ブルーバード ・楽しいわらべ歌と絵本の読み聞かせ ・「ビー玉万華鏡を作ろう」米子ものづくり道場 三代光さん ・「手話で絵本を楽しもう」～みんなちがってみんないい～ 境港総合技術高等学校&西部ろうあ仲間サロン会 ・演劇「村田さん」境高校演劇部 ・一箱本屋さん ・移動図書館車展示会 ・おススメ本、境高校写真部の写真展示 ・読書まつりクイズラリー <p>延べ1,038人が参加(イベントごとの参加者合計)</p>		
予算額	287千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な参加者を想定した催し物の成果として、赤ちゃんから大人まで幅広い人達が楽しむイベントとなった。 ・図書館と一体となった境港市民交流センターは、人々が気軽に集い、賑わいあふれる場所としての機能を果たした。 ・鈴木氏の子ども達を巻き込んだ語り、定員を増加したモノづくり道場など体験型のイベントに親子で参加する姿が目立った。 		
評価	○	順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント内容の改善は、継続的課題。対象が幅広くなるほど、内容、会場配置、時間帯などの工夫が必要である。 ・第20回の記念大会を終え、今後のイベントの在り方や規模などを検討していく必要がある。 		
検討事項	・イベントの内容、開催時期の検討		

※学識経験者による指摘・助言

- ・秋に行われる読書週間ごろに開催されればよいと考えます。
- ・イベント内容については、今回成果があったモノ作りなどの体験型で、親子で参加される催しなどを実行されたらよいと考えます。
- ・図書館を応援されている市民団体、小中学校の学校図書館職員の皆さんとの連携を密にして企画実行されたらよいと考えます。

点検・評価シート

【目標3:社会教育の充実】

事業名	二十歳の集い記念事業	担当課	教育総務課
事業の目的	・二十歳を迎えた若者が大人として自立する意識を持つことを目的として式典を開催し祝福する。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和7年1月12日(日)午後1時30分 ・場所 境港市民交流センター みなとテラス ・内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 境港市の歌紹介 シンフォニー少年少女合唱団 2. 主催者式辞 境港市長 伊達憲太郎 3. 来賓紹介 4. 代表謝辞 境港第二中学校卒業者 松本 泰斗 5. アトラクション <ul style="list-style-type: none"> ○さかいみなとウィンドアンサンブル 境港市民合唱団 ○ビデオメッセージ 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度参加者 対象者345人 参加者232人 参加率67.3% (令和5年度参加者 対象者344人 参加者235人) (参加率 68.3%) ・民法改正に伴い、令和4年より、成人式の名称を「境港市二十歳の集い」に変更。 ・令和3年度より、実行委員会方式を採用。式典内容(アトラクション)・記念品決定・当日の受付、式典の司会を実行委員(7名)が行った。 		
予算額	592千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・二十歳を迎えた若者が一堂に会し、厳かに式典を挙行できたことで、大人としての自立意識を高めるきっかけとなった。 ・新たな文化と交流の拠点である境港市民交流センター(みなとテラス)での開催、市内中学校の校歌や思い出の曲を演奏したアトラクション、仲間、恩師との再会などがふるさと境港への思いを育む契機となった。 ・実行委員の7名が中心となって、企画及び運営を進めた。小学校時代の交流事業から親交を深めていた委員もあり、校区を超えたつながりが、スムーズな運営につながった。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	・若者世代を対象とした事業、各地域での活動と二十歳の集い実行委員形式を関連させた包括的な社会教育事業の展開が課題。		
検討事項	・若者世代の育成		

※学識経験者による指摘・助言

- ・式典の内容は申し分ないと思います。特に境港市の各種団体によるアトラクションは、今後とも続けていただきたい。
- ・7名の若い力が実行委員の中心となり企画・運営を進められたことは、今後につながる方式と考えます。友が友を呼び大きく羽ばたいていただきたい。
- ・若者世代の育成については、数年後を見据えて各中学校区で実践しているコミュニティスクールを通して中学生・高校生との意見交換等を実施されたらよいと考えます。

点検・評価シート

【目標4: 体育文化の振興】

事業名	市民交流センター管理運営事業	担当課	教育総務課
事業の目的	・ホールや会議室、図書館、防災拠点施設など多彩な機能を備える複合施設、「市民交流センター」の管理運営を行う。		
事業概要	<p>・施設の維持管理及び運営については、指定管理者が行う。 指定管理者: きさらぎ・さんびる共同企業体 指定管理期間: 令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)</p> <p>・複合施設としての機能間連携を図るため、施設入居団体の連絡調整会を定期的に開催する。 ・施設の管理運営に関して、外部からの意見を伺うため、運営協議会を年1回開催する。</p>		
実施状況	<p>①施設の利用状況(令和6年度:開館日数 359日) (利用件数/稼働日数/稼働率※)稼働率=利用日数/開館日数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ホール(113件/174日/48%) ・大会議室(257件/236日/66%) ・中会議室(285件/315日/88%) ・リハーサル室兼小会議室(908件/359日/100%) ・和室(285件/239日/67%) <p>[参考]全国公共ホール平均稼働率(市10万人未満):46.1% 「令和5年度 劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書(公益社団法人 全国公立文化施設協会)」より</p> <p>②主なイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/14 ふれあいコンサート(西部航空音楽隊) ・9/29 さかいみなと消防・防災フェア ・12/7～8, 12/21～22 境港市民音楽祭 ・影絵劇、境港おもちゃ病院(毎月第3土曜日)、スタインウェイピアノ体験会(16日)、ワンコインシネマ(4回)、ピアノコンサート、マルシェ など。 <p>③カフェの運営(チャレンジショップの開始)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/5～10/31 ドリンク、デザート、軽食の販売 ・11/1～ 自家焙煎コーヒー、ジュース、お菓子の販売 <p>④連絡調整会の開催 【内容】施設の管理運営における情報共有、課題検討等 【構成】生涯学習課、防災危機管理課、市民図書館、指定管理者 【開催日】毎月1回</p> <p>⑤運営協議会の開催 【内容】施設の管理運営に関して外部の方からご意見を伺う 【委員数】15人 (構成)文化関係団体、図書館関係団体、防災関係団体、福祉団体、青年団体、自治会、学校・保育園、学識経験者、公募 【開催日】令和7年2月17日(月)</p>		
予算額	98,071千円		
成果・効果	・おもちゃドクターの養成を経て、令和6年度から「境港おもちゃ病院」を開院し、毎月30～40人の親子連れが壊れたおもちゃを持って訪れ、新たな賑わいが生まれた。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェの運営を、地元で活動している人を対象としたチャレンジショップ形式にしたことで、新たな交流の場となった。 ・連絡調整会を毎月開催することにより、複合施設として、情報共有や課題検討を密に行うことができた。 ・運営協議会では、様々な立場の方から、管理運営に関する貴重なご意見をいただきました。 	
評価	○	概ね順調
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の中学生の問題行動により、来館者にご迷惑をおかけする事案が発生したが、注意喚起を行うとともに、防犯カメラを設置するなどの対策を講じた。今後も、引き続き、安全で、誰もが安心して快適に過ごせる施設を目指し、指定管理者と市で連携して適切な管理運営に努める。 	
検討事項		

※学識経験者による指摘・助言

- ・境港市のランドマークである市民交流センターの稼働率が全国平均と比べ高い中でも、さらに新しい企画を次々と推進されておられることが素晴らしいと思います。
- ・安全安心の拠点として、毎月開催される連絡調整会においては、引き続き、情報共有や課題解決を率先して実施していただければよいと考えます。

点検・評価シート

【目標4: 体育文化の振興】

事業名	第36回全国健康福祉祭とっとり大会 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」 (ソフトバレーボール交流大会)	担当課	生涯学習課
事業の目的	・60歳以上の方を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与する。		
事業概要	・令和6年10月19日～22日の4日間、鳥取県内全19市町村で29種目の交流大会が開催。 ・境港市では「eスポーツ」(長寿社会課担当)と「ソフトバレーボール」(生涯学習課担当)の交流大会を実施。		
実施状況	<p>【ソフトバレーボール交流大会】</p> <p>全国から64チーム452人の選手・監督が参加。</p> <p>・10/19 代表者会議(境港商工会議所 大会議室) 開始式(境港市民交流センター 市民ホール) ※eスポーツと合同開催</p> <p>・10/20 交流大会「予選リーグ」(境港市民体育館) ・10/21 交流大会「決勝リーグ」、表彰式(境港市民体育館)</p> <p>【歓迎ふるまい】</p> <p>・10/20 カニ汁(400食) ※境港ベニガニ有志の会協力</p> <p>・10/21 いわしのつみれ汁(400食) ※境港市食生活改善推進委員会協力</p> <p>【歓迎装飾】</p> <p>・市内小中学校の児童生徒がデザインした参加チームごとの応援横断幕(64枚)を会場内に設置。 ・市内小学校の児童が苗植えし、応援メッセージを添えた歓迎プランター(23基)を会場敷地内に設置。</p> <p>【その他】</p> <p>健康づくりブース(フレイルチェック体験、フレイル予防運動実践、簡身体力測定、健康チェック)、売店、スポーツドリンクの無料提供、市内観光用無料シャトルバスの運行ほか。</p>		
予算額	境港市実行委員会の予算(※eスポーツ含む) 51,118千円(うち、市の負担金19,553千円)		
成果・効果	<p>・カニ汁やいわしのつみれ汁のふるまいについては、参加者の皆さんから大変ご好評をいただき、境港市にPRにつながった。</p> <p>・市内の児童生徒がデザインした応援横断幕については、参加チームの皆さんが大変喜んで持ち帰られた。</p> <p>・交流大会全体を通して、大きな事故や怪我もなく、参加者が幅広く交流できた大会となった。</p>		
評価	◎	順調	

課題・問題点	本大会を記念し、令和7年度以降も「因伯ねんりんピック」(一部種目のみ)として、継承されることとなった。引き続き、鳥取県内の60歳以上の方がスポーツや文化活動を通して、積極的な仲間づくり、健康と生きがいづくりを促進し、活力に満ちた明るい長寿社会を目指す。
検討事項	

※学識経験者による指摘・助言

- ・ねんりんピックが開催されたことで、地域の60歳以上の皆さんが、よりスポーツや文化活動を楽しみ、健康と生きがいづくりに邁進されることを願っております。
- ・市内の児童生徒がデザインした応援横断幕を参加チームの皆さんが喜んで持ち帰られたことは、今後チームの皆さんの励みになります。
- ・境港の旬の魚での「かに汁やいわしのつみれ汁」のふるまいは、参加者の皆さんから大好評をいただき、境港のPRにつながったことは大変喜ばしいことだと思います。また前日から準備をされた調理担当の皆さんに敬意を表します。

教育委員会の活動状況（令和6年度）

1. 教育委員会委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	山本 淳一	R4.10.26～R7.10.25	
教育長職務代理	中田 耕治	R4.10.7～R8.10.6	
委員	大部 由美	R6.10.26～R10.10.25	
委員	十河 淳	R3.10.1～R7.9.30	保護者
委員	渡邊 不二子	R5.11.1～R9.10.31	

2. 教育委員会の開催状況

令和6年度は、定例教育委員会会議12回、臨時会議2回を開催し、議案28件、協議事項6件、予算関係事項1件について審議を行っている。

3. 教育委員会委員の主な活動（定例会、臨時会以外）

入学式・卒業式への出席
 運動会・音楽会・文化祭等への出席
 学校訪問（一斉公開日等適宜）
 研修会・協議会への参加
 その他各種行事等への出席

4. 委員会活動の情報発信

委員名簿をはじめ、教育委員会の概要を境港市ホームページで紹介している。

委員会の開催日時について、事前に境港市ホームページに掲載するとともに、告示している。

会議録は、次回の委員会時に各委員に確認してもらった後に、ホームページに掲載している。

5. 教育委員会の会議の開催状況について（◆：議案、◇：協議事項、◎予算関係事項）

開催日	件名
4月25日	◆ 境港市スポーツ推進委員の委嘱について
	◆ 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について
5月28日	◆ 境港市青少年育成センター運営協議委員の委嘱について
	◇ 教育委員会の点検・評価について
6月25日	◆ 境港市社会教育委員の委嘱について
	◆ 境港市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	◇ 6月定例会市議会教育委員会関係質問答弁について
7月26日	◆ 境港市就学支援委員会委員の任命について
7月31日	◆ 中学校教科用図書の採択について(非公開) 【臨時】
8月26日	◆ 境港市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	◆ 境港市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について
9月26日	◆ 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について
	◆ 境港市民温水プール条例施行規則等の一部を改正する規則について
	◇ 9月定例会市議会教育委員会関係質問答弁について
10月29日	報告事項のみ
11月28日	報告事項のみ
12月25日	◆ 境港市文化ホール条例施行規則及び境港市民交流センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	◇ 12月定例会市議会教育委員会関係質問答弁について
1月28日	◆ 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について
2月20日	報告事項のみ
3月11日	◆ 令和6年度末教職員人事異動について(非公開) 【臨時】
3月25日	◆ 境港市渡公民館長の任命について
	◆ 境港市外江公民館長の任命について
	◆ 境港市境公民館長の任命について
	◆ 境港市上道公民館長の任命について
	◆ 境港市余子公民館長の任命について
	◆ 境港市中浜公民館長の任命について
	◆ 境港市誠道公民館長の任命について
	◆ 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について
	◆ 境港市スポーツ推進委員の委嘱について
	◆ 境港市立学校の学校医の委嘱について
	◆ 境港市第三中学校区学校運営協議会委員の任命について
	◆ 境港市第一・二中学校区学校運営協議会委員の任命について
	◆ 境港市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	◆ 令和7年度境港市学校教職員の研修について
	◇ 令和7年度境港市学校教育の指針について
◎ 令和7年度教育委員会関係予算について	
◇ 3月定例会市議会教育委員会関係質問答弁について	